

本会議から付託された議案3件を審査するため、令和2年3月19日に文教福祉委員会を開催しました。

議案第29号 総社市新型インフルエンザ等対策条例の制定について

～内容～

新型インフルエンザ等から市民の生命及び健康を保護し、並びに市民生活及び市民経済に及ぼす影響が最小となるよう対策を強化するため必要な事項を定めるもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

～質疑～

問：そもそも新型インフルエンザ等の対策にあたっては、国の特措法があるのに、市が条例を制定しなければならないのか。

答：関係機関と連携して、迅速かつ的確に対応するため必要と考えている。感染症ははしかなども含まれるが、新型インフルエンザ、新感染症、指定感染症の3点に絞り込んで対応しようとするものである。

問：この条例を2月定例会市議会最終日に上程するほどのスピード感が必要だったのか。十分な検討がなされたのか。

答：大枠の支援の根拠を示し、市民の安心安全のため制定しようとするもので、感染拡大期の対応を迅速にするため必要と考えた。非常に重要なことなので、運用にあたっては、議会とよく相談しながらやっていきたい。

議案第30号 令和元年度総社市一般会計補正予算（第7号）

～内容～

新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止のための消耗品費と特別外来診療等負担金の計上が主なもの。

～結果～

特に質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

議案第31号 令和2年度総社市一般会計補正予算（第1号）

～内容～

新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止のための特別外来診療等負担金の計上が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

～質疑～

問：特別外来診療等負担金500万円は医療機関への支援か。

答：具体的には電話相談や患者を診ていただくことに対する負担金で、吉備医師会や医療機関を想定している。